

-まんでんてらこや-

公開講座

参加費
無料

日時:2019年4月20日(土) 14:00-17:00

会場:京都大学阿武山観測所

定員:50名(申込先着順)

生物の多様性

～多様になるしくみと多様である利益～

京都学園大学バイオ環境学部
大西 信弘 教授



阿武山観測所では季節ごとの、春(4月)・夏(7月)・秋(10月)・冬(1月)に、一般市民対象『公開講座』を開講します。地震学や防災・減災に限定することなく、多様な分野で活躍の講師を招いて話題を提供してもらい、みなさまの探究心を呼び起こします。

申込み

阿武山観測所ホームページ

<http://abuyama.com>

先着順(定員に達した時点で受付終了)



主催: 京都大学防災研究所 阿武山観測所

阿武山地震観測所・サイエンスミュージアムプロジェクト

後援: 高槻市、茨木市

program

生物の多様性

～多様になるしくみと多様である利益～



京都学園大学バイオ環境学部 大西 信弘 教授
昭和41年 東京都生まれ 大阪市立大学大学院理学研究科
生物学専攻後期博士課程修了 博士(理学)
専門は動物生態学

地球上には数千万種の生物が生息していると推測されています。
さらに、同じ種の生き物であっても、よくみれば、それぞれの個体ごとに様々な違いを見つけることができるでしょう(近所の野ネコを見てみてください)。
では、いったい、どんな生物がいるのでしょうか?
最初に、現存する生物について簡単に見てみましょう。
そして、どれも生物であることに変わりはないのに、生物は、なぜ、このように多様なのでしょうか?
この疑問について、多様な生物が生じる仕組みと、多様であることの利益という2つの視点から考えてみます。



阿武山観測所のサポーター制度について
観測所では、サイエンスミュージアムプロジェクトを皆様方と一緒に推進し活動する「阿武山サポーター」(ボランティア)を募集しています。ご関心のある方はお気軽にスタッフまでお問合せください。

所在地: 〒569-1041 大阪府高槻市奈佐原944
京都大学防災研究所 阿武山観測所